



早坂憲明議員

日本女性が不足、国際婚活支援を

回答 管内の婚活に力を入れる

早坂憲明議員 平成22年の国勢調査によれば、初婚平均年齢0〜30才までの日本女性が、全国で約830万人、山形県で約6100人、金山町で約60人が、男性よりも少ない結果である。

結婚適齢期を迎えた19〜30才の金山町男性は、女性よりも約20人多い現状にある。日本女性が不足であり、このままでは未婚となり、空き家の増加を生む状況にある。この解消の為に、国際結婚支援の必要があると考えるが、

早坂議員 この度、町の貸工場を利用されることになったアキレス(株)の力を借りて、海外事業を展開している場所に、婚活窓口を設けていただき、金山町で希望する男性を、海外で見合いをさせるといふ婚活事業はできないものか。

町長 町が外国の方々と町内の方の婚活を推進することは、困難性が強い。現地法人で働いている女性で、日本で生活しても良いという女性がいるのか、アキレス(株)と情報交換しながら進めていきたい。

子育て保護者に

経済的支援を

早坂議員 生活保護対象になっていない子育て専念する保護者に、経済的支援の考えは。経済的支援の基礎的助成額を、生活保護子育て家庭ラインに定め

町長 生活保護を受け



安心・安全な子育てを

ている方よりも、生活が苦しい方がいるというのは、実際あり得るのか。そういう方がいれば、担当課に申請し出していたきたい。生活支援もひとつの方法であるが、仮に生活支援をする場合、そ

て、その基準より少ない収入で子育てに専念している保護者に、子どもが3歳になるまでに、月何万円かの経済的子育て支援はできないか。

町長 生活保護を受け

の生活の困窮度を誰が判断するのか。これが一番のネックになる。根拠がない状況では、議会からも理解が得られないと思うし、非常に不透明な支援になってしまう。



婚活に灯を

佐藤総務課長 国際結

冬でも住みやすい 環境整備を！

回答 総合戦略策定委員会で議論を



寒河江 宏一 議員

寒河江宏一議員 町の人口減少や少子高齢化さらには空き家等が問題であるが、特に冬期間の雪については大きな課題である。現状をどのように把握しているのか。

西田環境整備課長 高齢者や障がい者で、自力で除雪できない方に関しては、除雪費支給事業も行っている。また、高齢者世帯に職員や民生委員が訪問を行い、福祉除雪支援が必要な状況を把握して除雪時に配慮を行っている。

寒河江議員 国道の西側や街なか公営住宅を



除雪作業

西田環境整備課長 流雪溝の整備は、非常に除排雪にとって非常に効果的な施設であり、技術的に可能で地域の理解が得られれば計画したいと思う。今年度は、除雪作業と一緒に2トトラックで計画的に排雪をし、町民の

整備した地域などに、流雪溝、融雪溝の整備を行い冬期間だけの水利用を考え、冬でも住みやすい環境整備が必要と考えるが町としての対策は。

町長 金山版総合戦略策定委員会で、大いに議論していただきたい。また、この度十日町地区に住宅促進のため取得した用地内に、流雪溝の整備を考えている。



明安地区農業集落排水施設

西田環境整備課長 民間の専門業者が、保守点検と放流水質の適正な維持管理を行っている。しかし、整備建設から20年以上が経過しており、管路への不明水の流入や終末処理場設備等の劣化が進み、修繕等の経費が増加している状況にある。

寒河江議員 2施設の老朽化や将来の人口数を考えると公共下水道と繋ぐ等を含めて検討する時期に来ているのではないか。

西田環境整備課長 国の交付金制度を活用した施設の機能診断を実施し、更新計画を策定することを検討したい。また、山形県から町が中長期の計画策定を進め維持管理費と公共下水に接続した場合の経済比較の検討を行っている。